

はま寿司が「青森ねぶた祭」で オリジナルねぶたを初運行しました！

寿司チェーン「はま寿司」を展開する株式会社はま寿司（代表取締役社長：南 哲史 本社：東京都港区）は、2026 年 8 月 2 日（日）～8 月 7 日（金）に開催された「青森ねぶた祭」に参加し、オリジナルの“前ねぶた”を運行しました。



「青森ねぶた祭」は、東北三大祭りの一つで、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。歌舞伎や歴史・神話を題材とした華やかな“ねぶた”、色とりどりの衣装をまとう踊る“跳人”、笛や太鼓、手振り鉦などの音色で囃す“囃子方”などが祭りを盛り上げ、日本全国・世界各地から多くの観光客が訪れます。

はま寿司は、地域の伝統文化の保護と継承に貢献するとともに、従業員が日本文化を深く理解するための取り組みの一環として「青森ねぶた祭」に参加しました。

【ゼンショーグループの日本文化学習】

「はま寿司」をはじめとするゼンショーグループは、人類社会の「安定」と「発展」に責任をもち日本発のグローバル企業として多文化共生の社会を推進しています。諸外国の文化を理解する土台として、まずはゼンショー創業の地である日本の文化の理解を深めるため、従業員やゲストが日本文化を身近に学べる施設を設置し、研修を行っています。

参考：https://www.zensho.co.jp/jp/sustainability/office/culture_study/

以上